

## アンケート結果にみる授業の成果と課題（令和5年度）

教職臨床特支系（教育臨床講座）・山田 誠

### 1. 授業の概要

#### （1）受講者

本授業は、前期開講、必修の専門科目であり、今年度の履修者は、1年次生10名、2年次生1名の計11名である。

#### （2）授業の目的・到達目標・関連するDP

変化の激しい、先行き不透明な現代社会を生きるうえで、生涯学習は重要かつ不可欠の鍵である。本授業は、生涯にわたる学びの支援において、学校教育と社会教育等、各教育部門の取り組みと教育部門間の連携・協力はどうか、子ども期から成人期へと、生涯学習者としての成長をどのように支えるか等、生涯学習及びその支援の現状を踏まえ、今後の課題とその解決策を探ることを目的とする。

本専攻のディプロマ・ポリシー（DP：学習の到達目標）のうち関連する項目は、「〈知識・理解〉1. 学校や地域における臨床心理学的支援に必要な、生涯発達・教育、臨床心理学、精神保健医療に関する専門的知識を習得している。」及び「〈思考・判断・表現〉3. 生涯発達と教育、心の健康にかかわる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方策を適切に考え、高度な実践力をもって臨床的支援に取り組むことができる。」を想定している。

#### （3）授業概要

本授業では、生涯学習及び生涯教育に関する基本的内容を理解するとともに、生涯学習の現状を把握し、学習者の特質を踏まえた学習支援の必要性について、主として成人期を中心に考察する。アンドラゴジー（成人の学習を援助する技術と科学）の理論について、子どもの教育学であるペダゴジーに対比させながら把握する。各教育部門において、また、異なる教育部門や教育段階間の連携・協力を通して、生涯学習者としての成長の支援にどのように取り組むことができるかを、生涯学習の基礎的能力としての「生きる力」の育成や、自己主導的学習の支援に関する議論等を手がかりにして検討する。終盤は、受講者が、取り上げた問題、テーマについて調べ、

考察し、解決策を探り、その成果をまとめ、発表し、ディスカッションを行う。そして、その過程を踏まえ、レポートにまとめる。

#### （4）授業の方法・形態

主に教科書、配付資料や板書を用いた講義形式中心の授業であるが、視聴覚教材や、発問、受講者の意見発表を一部取り入れ、毎回終了時に授業コメントの記述を求めている。記述内容に応じて時折フィードバックを行う。また、上述のように、終盤の数は、受講者の主体的取組に基づく、研究、発表、及び討議を位置づけている。

### 2. 授業評価の方法

最終15回目の授業のなかで、授業全体を振り返っての、受講者による授業評価アンケートを実施した。アンケートは、無記名で、4段階評価形式の質問が4項目8問と自由記述形式の質問が1問である。受講者10名から回答を得られた（1名欠席）。以下、アンケートの結果を示す。

### 3. 結果

#### 【授業の内容に関する質問】

1-1. [関心・興味] この授業で取り上げられた事柄について、関心・興味がわいた。

- 4. そう思う：4名（40.0%）
- 3. まあそう思う：3名（30.0%）
- 2. あまりそう思わない：2名（20.0%）
- 1. そう思わない：1名（10.0%）

#### 【授業担当者の授業方法に関する質問】

2-1. [わかりやすさ] 教員の説明の仕方はわかりやすかった。

- 4. そう思う：3名（30.0%）
- 3. まあそう思う：4名（40.0%）
- 2. あまりそう思わない：2名（20.0%）
- 1. そう思わない：1名（10.0%）

2-2. [教材等の使用] 教科書、プリント、黒板（ホワイトボード）、ビデオ等の使い方は効果的だった。

- 4. そう思う：2名（20.0%）

3. まあそう思う：5名（50.0%）
2. あまりそう思わない：2名（20.0%）
1. そう思わない：1名（10.0%）

2-3. [コメントカード] 毎回コメントカードを記述することが、授業内容について振り返るとともに、理解や考えを深めるのに役立った。

4. そう思う：5名（50.0%）
3. まあそう思う：5名（50.0%）
2. あまりそう思わない：0名（－）
1. そう思わない：0名（－）

#### 【あなた自身に関する質問】

3-1. [あなたの態度] あなたは、この授業に積極的に取り組みましたか。

4. そう思う：3名（30.0%）
3. まあそう思う：6名（60.0%）
2. あまりそう思わない：1名（10.0%）
1. そう思わない：0名（－）

#### 【授業全体に関する質問】

4-1. [得るものがあつたか] この授業により、考えが培われたり、得るところがありましたか。

4. そう思う：4名（40.0%）
3. まあそう思う：4名（40.0%）
2. あまりそう思わない：2名（20.0%）
1. そう思わない：0名（－）

4-2. [目的・目標達成度] この授業の目的・目標は達成された。

4. そう思う：2名（20.0%）
3. まあそう思う：5名（50.0%）
2. あまりそう思わない：3名（30.0%）
1. そう思わない：0名（－）

4-3. [満足度] この授業は全体として満足のいくものだった。

4. そう思う：2名（20.0%）
3. まあそう思う：5名（50.0%）
2. あまりそう思わない：2名（20.0%）
1. そう思わない：1名（10.0%）

#### 【自由記述】

授業で学ぶことができたこと、よかったこと、こう改善するとよいという意見など、自由に記述してください。

- ・ レポート課題の中間発表を授業の6～8回目あたりにいれてくれると、余裕をもってレポート作成に取り組むことができるのになと思いました。
- ・ 他の授業で発表スライド作成や期末レポート、

試行カウンセリングの逐語録作成と重なる時期と被っているため、最終レポートの量を減らすか、課題の実施要領を×切日の2ヶ月以上前には告知してもらえると良いと思う。

- ・ 研究レポートで興味のある内容について詳しく学ぶことができて良かった。
- ・ 内容の区切りのいいところでディスカッションの場を設けるのも面白いかもしれないと思いました。総じて、興味深い内容で、今後の学習の大きな気づきになりました。
- ・ 生涯学習について今まで考えたことがなかったので、この授業を通して知ることができた。これから、さまざまな物事に対して興味関心を持ち、積極的に学び続けたいと思った。
- ・ 生涯学習における課題を知ることができた。
- ・ 授業を踏まえ、ふり返りシートやレポートで知識を整理できたと思います。
- ・ 授業でもう少しレジュメを配ってもらえるとかなりやすい。

#### 4. 結果の考察と授業改善について

本授業は、心理発達臨床専攻の科目ではあっても、心理学が専門ではない授業者が担当させていただき、主として生涯学習・生涯教育に関する内容である。臨床心理学を学びたい受講者にとって興味のない授業になりはしないかと気になってもいた。そのようななか、昨年度、学生モニター会議に受講者から苦情、要望が出されたことをお伝えいただくこととなった。これをうけ、授業の内容や方法、レポート等を見直し、前年度からの一定の変更を行って、今年度の授業を実施した。

しかし、アンケートの8問中5問で、肯定的回答（「そう思う」及び「まあそう思う」）の比率が7割にとどまっており、さらに改善を要する。

一方、前向きに捉えれば、8割の受講者は、授業により考えが培われたり、得るところがあつたりしたと回答してくれていた。また、受講者の9割は、この授業に積極的に取り組んだと答えている。ありがたいことである。

自由記述として寄せられた貴重な意見、助言を参考にさせていただき、今後も少しずつ改善を図っていきたい。